



発表を通じた学び



岩内西小学校長 佐古岡 香

どんよりとした灰色の雲間から雪が舞い落ちる季節となりました。毛糸の帽子や手袋、ネックウォーマーなどでがっちり防寒した姿で登校する子どもたちの姿も見慣れたものとなりました。

今月は16日から3日間、「学習発表会」を行いました。感染症対策にご理解とご協力の上、たくさんの保護者の皆様に子どもたちの学習と練習の成果を見ていただきありがとうございました。発表後の子どもたちの表情や言葉には、達成感や満足感がにじみでており、この発表会を通して学んだことの大きさを実感しました。

今回改めて感じたことは、「誰かに見てもらう」ことにより、子どもはさらに伸びるといことです。学習発表会に先立ち、一つ下の学年に発表を見てもらう、一つ上の学年の発表を見る機会を設けました。この経験を通して、指導している先生方の目にもはっきりとわかるほど、子どもたちはさらにギアを一段上げ、発表会に臨むことができました。



また26日は、岩内町の小中学校4校による「小中一貫教育サポート事業公開研究会」が行われました。この事業は今年度からの実施で、以下の目標の下進めているものです。

1. 義務教育の9年間を見通した指導計画に基づき、系統性のある教育を推進する
2. 小・中学校の縦のつながりや小中、中中の横のつながりを深めるため、全教職員が授業改善に努める

2学期から、本校5、6年生の算数科、理科、外国語の授業に、一中の教員が乗り入れ指導にきており、公開研究会では6年1組の算数、6年2組の理科の授業公開を行いました。子どもたちは、小学校での学びが中学校でどのような学びにつながっていくのか意識し、中学生としての自分の姿を明確にイメージすることができるようになってきています。12月には、二中への体験入学（登校日）が予定されており、新たなステージでの学びを体験します。



2学期も残すところ1か月となりました。子どもたちは学習発表会、私ども教職員は公開研究会、それぞれに向けての取組を通して学び合ったことを今後に生かし、さらなる成長につなげていきたいと思ひます。

